



暑い夏がやって来ました。今年も外来診察室の外壁に、ゴーヤがすくすく育っています。

これは毎年、京丹波町女性の会瑞穂支部からゴーヤの株を分けていただいて、色鮮やかな緑のカーテンを広げることで、目でも肌でも「涼める」ように取り組んでいるものです。今年は70株を植えました。昨年は緑のカーテンの恵みで、立派なゴーヤの実がたくさん収穫できました。今年もいっぱい実りますよう楽しみにしています。

そして、夏の話題をもう一つ。暑い中お世話になりました、桧山寿会の奉仕作業です。京丹波町病院の敷地は広いので、スタッフだけの作業には限界があります。そこで毎年、桧山寿会から草刈りの申し出をいただきお手伝いいただいております。今年は7月15日(金)に約30人の会員に美化作業をしていただきました。このように、病院運営にご協力いただけることは、本当にありがたく「感謝」のことばにつきます。

京丹波町病院はこれからも、皆さまに親しんでいただける「かかりつけ病院」となりますよう、スタッフ一同努力してまいります。



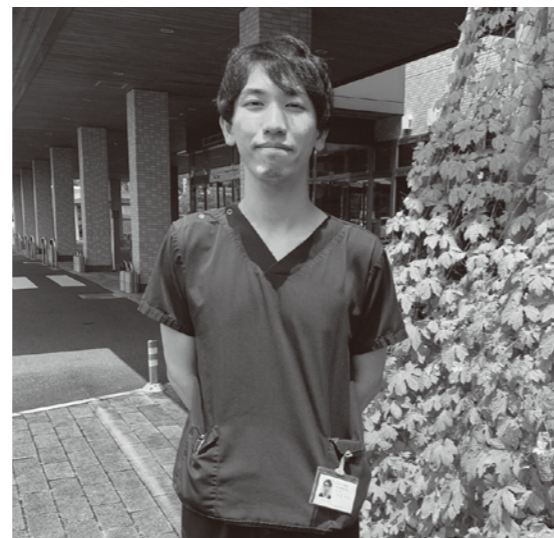
ピロリ菌は除菌後も定期的な胃カメラを！

ピロリ菌が胃癌の原因であることはご存知の方も多いのではないのでしょうか。最近では除菌治療の進歩によって、胃癌による死亡者数は年々減少傾向にあります。

しかし、ピロリ菌を除菌できたからといって完全には安心できません。除菌後であっても200人に1人は毎年新たに胃癌が見つかるといわれています。

癌は早期発見が何よりも重要です。内視鏡を受けたことがない方はもちろん、ピロリ菌をすでに除菌された方も定期的に胃カメラ検査を受けてみましょう。

当院では口からだけでなく、鼻から挿入する細い内視鏡も導入しておりますので、胃カメラに苦手意識のある方は一度ご相談ください。



国保京丹波町病院 水曜日
和知診療所 木曜日の総合内科 担当
まるお かずや
丸尾 和也 医師

京丹波町にお住いの皆さんが健やかに幸せに「健幸」で暮らせるように……。国保京丹波町病院では、病気になる前の「予防医療」を大切に病気を患ってからもその人なりに幸せに暮らせるよう「地域包括ケアシステム」を充実し町民一人ひとりの健幸Wellness—ウェルネス—を目指しています。

院長先生の Wellnessコラム

かき た ひで はる
垣田 秀治院長



コロナ感染者が増えましたね。しかし、今までとは違って、政府はまん延防止や非常事態宣言には消極的。

確かに政府や自治体がそういった発言をすると、患者数は減るのかもしれませんが、それも結局は各自各自の行いによるものです。

非常事態宣言が出ようが出まいが、皆さんそれぞれが感染対策を意識をすることで、感染が広がることはありません。

今までからいわれている三密の回避、換気や手洗い、マスクなしでの会話をしない、改めて一人ひとりが注意して、第七波に打ち勝っていきましょう。